

[普及事項]

新技術名： 秋田県版「シャインマスカット」用カラーチャートによる収穫適期の判定（平成24～28年）

研究機関名 果樹試験場 生産技術部
担 当 者 中澤みどり・大隅専一 他3名

[要約]

ブドウ「シャインマスカット」に青色袋を被袋した果実では、果房中央陰向面の果皮色が秋田県版カラーチャートで指数4（黄緑色）に達すると、糖度18%程度のものが収穫できる。

[普及対象範囲]

県内ブドウ生産者、普及指導機関

[ねらい]

秋田県では市場ニーズにあわせ、「シャインマスカット」の品質目標を果房重500g以上、糖度18%以上で果皮色が黄緑色としている。これらの目標にあった収穫適期を判断するために、秋田県版カラーチャートを作成し、その利用方法を検討する。

[技術の内容・特徴]

- 1 「シャインマスカット」の果皮色を未熟期時から過熟期時までの果房を基に、指数1～6までの6段階に区分した秋田県版カラーチャートを作成した（図1）。
- 2 収穫適期は果房陰向面中央部の果皮色で判断し、果皮色がカラーチャート指数4に達すると、おおむね糖度18%程度の果実が得られる（図2）。
- 3 陰向面中央部の果皮色がカラーチャート指数4で収穫した果房のうち、糖度18%に達したものは700g以下（n=20）では9割であったが、700gを超える（n=21）と1割のみであった（図3）。700gを超える果房では収穫を遅らせても糖度18%に達しない果実が多い。
- 4 収穫は陰向面中央部がカラーチャート指数4に達した果房から順に行う。

[成果の活用上の留意点]

- 1 チャートの使用時は直射光を避け、日陰を作って判断する。夕暮れ時は正確な果皮色の判断ができないので避ける。
- 2 本成果は青色袋（小林製袋社製グレープカラー青）で栽培した果実での結果であり、果実袋が異なるとカラーチャートと色調が異なるため上記の判定基準を適用できない。
- 3 糖度18%以上の果実を得るためには、果房重700gを超えないように房作りを行う。
- 4 過熟果房（果皮色がチャート指数5以上の果房）には、品種特性であるマスカット香が少ない傾向がある。

[具体的なデータ等]



図1 秋田県版カラーチャート（指数1～6）

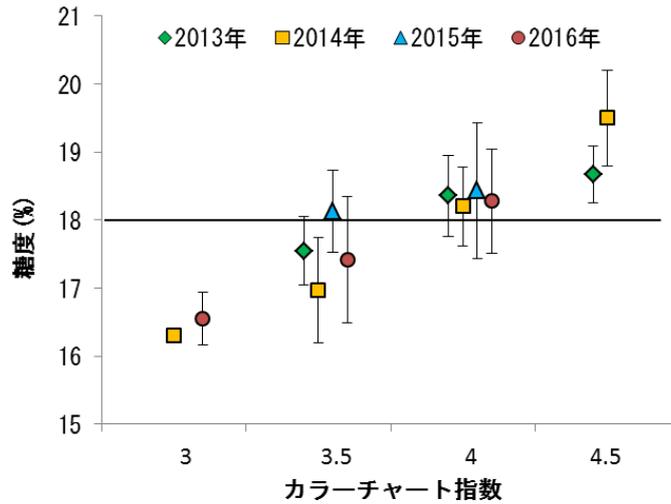


図2 果房の糖度とカラーチャート指数の関係（陰向面）
 果房重は500～700g。
 カラーチャート指数4の調査果房数 2013年(n=5)、2014年(n=27)、2015年(n=12)、2016年(n=10)。

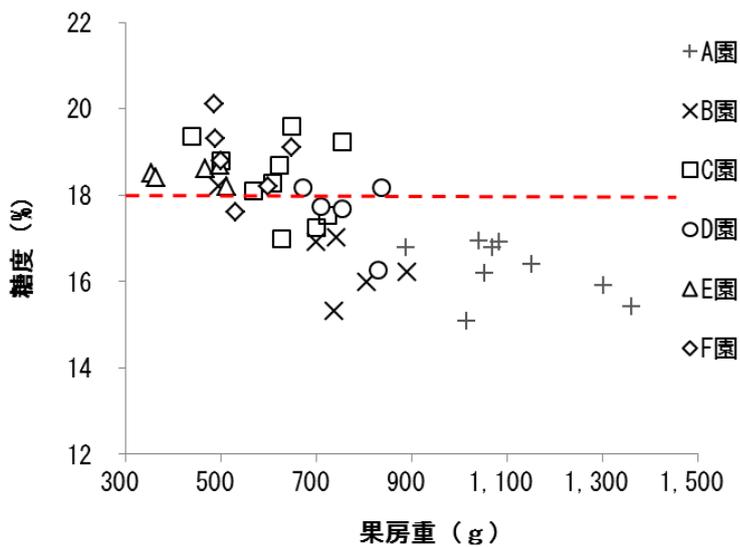


図3 現地6園地におけるカラーチャート指数4で収穫した果実の果房重と糖度の関係（2013年）

[発表論文等]
 なし